様式第８－１号（個人の申出の場合）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 匿名データ管理状況報告書 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日独立行政法人統計センター理事長　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提供申出者 | 所属及び職名 |  |
|  | 氏名 |  |  |
|  | 連絡先所在地 |  |
|  | 連絡先電話番号 |  |
|  | 連絡先e-mail |  |

　年　月　日付け匿名データの提供に係る申出により提供を受けた匿名データについて、その管理状況を下記のとおり検査しましたので、その旨報告いたします。記 |
| 匿名データを用いて行う学術研究、授業科目又は事業の名称 |  |
| 検査年月日 | 　　年　　月　　日 |
| 検査実施者 |  |
| 検査場所 |  |
| 検査状況 | １　利用者の範囲は適正か。２　管理方法は適正か。（※該当するものにチェックする。）[ ] 　匿名データの利用場所（匿名データファイルの保管を含む）は、施錠可能な物理的な場所に限定されるとともに、匿名データの利用時に匿名データの利用場所に存在する者が制限される、又は何らかの確認行為が行われるなど、利用場所への入退室管理を行っているか。　[ ] 　匿名データは限定された媒体に格納され、当該媒体が施錠可能なキャビネット等で保管されているか。また、匿名データを利用する電子計算機がワイヤー等で固定されているか。さらに、利用場所から匿名データが不正に持ち出されないための保安対策が図られているか。[ ] 　複製した匿名データ及び集計作業等によって生成される中間生成物の削除、匿名データ等が記録された機器等を廃棄する場合は、専用ツールを用いるなどにより復元不可能な手段で行われているか。[ ] 　匿名データを使用する情報システムに、識別及び主体認証、スクリーンロック等の不正操作対策が図られ、利用者以外の者が匿名データ及び中間生成物を保管している電子計算機にアクセスできない措置がとられているか。[ ] 　匿名データを使用する情報システムに、コンピュータウイルス対策、セキュリティホール対策等の不正アクセス行為を防止する措置がとられているか。[ ] 　外部ネットワークに接続する可能性のある電子計算機や利用者以外の者が使用する電子計算機を利用する場合は、オフラインで集計作業等を行い、作業後は匿名データ及び中間生成物を残留させない、ダウンロードやアップロードの監視を行うなど、匿名データ及び中間生成物（廃棄物含む）の漏えい等事故を防止するための措置がとられているか。[ ] 　「匿名データに係る管理簿」を用いて、利用者ごとの利用状況が記録されているか。[ ] 　匿名データの漏えい、滅失又は毀損の発生又はその兆候を把握した場合の処理手順（直ちに被害拡大防止、二次被害や類似事案発生防止等の措置を図り、統計センターに報告する等）を定めているか。[ ] 　教育目的で利用する場合、利用者たる学生に匿名データを保管・管理させてないか。 |
| 検査結果(所見) |  |

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。